

# 訓子府町公共施設等総合管理計画概要版

## I 公共施設等総合管理計画の概要

### 1. 公共施設等総合管理計画策定の背景と目的

#### (1) 公共施設等総合管理計画策定の背景

人口急増期にあたる昭和 40 年代後半から多くの公共施設を整備してきましたが、今後全ての公共施設の規模を維持し、更新することは困難です。

#### (2) 公共施設等総合管理計画の目的

住民ニーズの多様化などに応じて整備を進めてきた公共施設等について最適な配置の実現が必要です。

#### (3) 公共施設等総合管理計画の位置づけ

本計画は施設毎の取り組みに対して、基本的な方針を提示するものです。

### 2. 本計画の対象となる公共施設等の範囲と計画期間

#### (1) 本計画における対象となる公共施設

公共施設は、庁舎等の 10 類型に分類しました。また、インフラ系施設については、道路等の 4 種類を対象として、現状等の把握や基本的な方針を検討します。

#### (2) 計画期間

計画期間は、平成 28 年度から令和 37 年度までの 40 年間とし、計画の見直しは 5 年ごとに行います。

## II 公共施設を取り巻く環境

### 1. 将来の人口 現状と予測～訓子府町人口ビジョンより

安心・安全に暮らし続けることができる環境を創ることで令和 22 年の人口が 3,547 人となり、社人研の推計値 3,127 人と比較して 420 人の施策効果が見込まれます。

### 2. 本町の財政状況

#### (1) 歳入の状況

歳入は、近年総額 42～59 億円で推移しています。

#### (2) 歳出の状況

歳出は、近年総額 39～57 億円で推移しています。

### 3. 公共施設（建築物）の状況

#### (1) 訓子府町の公共施設（建築物）の有状況

#### 有状況

令和 2 年度末の公共施設の延床面積合計は約 8.6 万㎡です。また、人口一人当たりの面積は 18.0 ㎡となっております。

#### (2) 公共施設老朽化の状況

##### ① 建築経過年数の状況

築 40 年以上経過した施設は、全体のうち 20%を占めています。

##### ② 有形固定資産減価償却率の状況

公共施設の有形固定資産減価償却率は 58.2%です。

### 4. インフラ系施設の状況

#### (1) 道路

多くの道路が 20 年を経過していることから、維持・補修に係る財政負担の増加が懸念されます。

#### (2) 橋りょう

「訓子府町 橋梁長寿命化修繕計画」に基づき長寿命化及び修繕が進行中です。

#### (3) 水道

アセットマネジメントの更新基準に基づき更新を行い、更新時に耐震化を行う計画です。

#### (4) 下水道

地方公営企業会計への移行は令和 5 年度までに行います。

# Ⅲ 本町施設更新の基本方針

## 1. 訓子府町の公共施設等の課題

### (1) 公共施設等の修繕・更新等への対応

過去に整備を進めてきた公共施設等の老朽化が進んでおり、将来にわたっての取捨選択を行う必要があります。また、より効率的な管理・運営を推進していくための組織体制の構築が課題となります。

## 2. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

### (1) 基本的な考え方

目指すべき将来像「『ちょっといいね!』がたくさんあるまち くねっぶ」の視点を重視し、地域の将来像を見据えた公共施設等の適正な配置の検討を行います。

#### ①公共施設等（建築物）

##### ■供給に関する方針

- 機能の複合化等による効率的な施設配置
  - ・廃止できない施設について、効率的な施設配置及び町民ニーズの変化への対応を図ります。
- 施設総量の適正化
  - ・必要なサービス水準を確保しつつ施設総量の適正化を図ります。

##### ■品質に関する方針

- 予防保全の推進
  - ・点検結果を踏まえた修繕や改修の実施により予防保全に努めます。
- 計画的な長寿命化の推進
  - ・必要に応じて施設の長寿命化を図ります。

##### ■財務に関する方針

- 長期的費用の縮減と平準化
  - ・歳出予算の縮減と平準化を図ります。
- 維持管理費用の適正化
  - ・維持管理費用等の適正化を図ります。
- 民間活力の導入検討
  - ・ニーズに応じたサービスの質向上を図ります。
  - ・ライフサイクルコスト最適化も踏まえ、経費の削減を図ります。

### (2) 人口減少・少子高齢化社会への対応

本町の総人口は2060年に約2,900人になると推計されています。各地区の特性に応じた公共施設等の適正な配置などを行っていく必要があります。

### (3) 逼迫する財政状況への対応

厳しい財政状況の中で、公共施設等の管理・運営にかかる費用を縮減し、事業の効率化や維持管理費の削減に取り組む必要があります。

#### ②インフラ系施設

##### ■品質に関する方針

- 長寿命化の推進
  - ・中長期的な経営視点に基づく計画的な維持管理を行います。

##### ■財務に関する方針

- 維持管理費用の適正化
  - ・維持管理費用の適正化及び平準化を図ります。
- 民間活力の導入検討
  - ・財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

##### ■供給に関する方針

- 社会構造変化に対応した適正な供給
  - ・社会構造の変化を踏まえ、適正な供給を図ります。

### (2) 公共施設等の維持管理の方針

施設ごとに点検・診断、耐震化、改修・修繕、長寿命化、更新の実施方針を整理します。

### (3) インフラ系施設の維持管理の方針

施設の状態等を記録し、次に活用するという「メンテナンスサイクル」の構築により効率的な維持管理を推進します。

### (4) 安全確保の実施方針

点検の結果をデータベース化し、施設の利用状況や優先度を踏まえ計画的な改修等を検討します。

## （５）長寿命化の実施方針

全庁的な観点から、他の計画と整合を図りながら、公共施設マネジメント全体として推進していきます。

## （６）耐震化の実施方針

道計画との整合性を図り、平成 22 年度に「訓子府町耐震改修促進計画」を策定し、町民が安心して生活できるよう、建築物の耐震化を推進します。

## （７）統合や廃止の推進方針

各種施設毎の費用の比較による費用対効果や機能の水準、目的への適合性等の指標を用いて、「施設廃止」等の方向付けを行います。

## （８）ユニバーサルデザイン化の推進方針

ユニバーサルデザインは障がいの有無等に関わらず生活環境をデザインする考え方です。多様な人々が施設を利用しやすい環境を整えていきます。

## （９）脱炭素化の推進方針

再生可能エネルギーの導入や省エネ性能に優れた

機器の導入など、公共施設における脱炭素化に向けた取り組みを推進します。

## （10）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

### ①町民との情報共有と協働体制の構築

リーフレットの発行により、公共施設に関する情報や課題意識の共有を図ります。

### ②民間活力の活用体制の構築

民間活力の導入により、町民サービスの充実を図るための体制構築を目指します。

### ③個別施設計画の作成

総延床面積が大きいもの等については、次章の方針に基づき計画を策定していきます。

### ④施設マネジメントの一元化

公共施設全体で固定資産台帳や施設カルテといったデータベース等の情報の集約整備を図ります。

# Ⅳ 施設類型ごとの管理に関する基本方針と財政効果

## 1. 公共施設（建築物）における対策の実績と管理に関する基本方針

今後のサービスのニーズに対応し、施設を維持するために既存施設の有効活用を図ることとします。

### （１）実施した対策の実績

平成 28 年度から令和 3 年度までに穂波団地や町営スキー場などの屋根・外壁の長寿命化改修を行いました。

### （２）庁舎等

定期的な点検・修繕等を実施し、安全性や効率性を踏まえ廃止する施設を検討します。

### （３）子育て・福祉関連

今後、利用状況や少子化の推移を見ながら、将来的に移転・解体などについて検討します。

### （４）地域会館関連

今後の人口動向などを踏まえた施設の方向性について、地域住民と協議しながら検討を進めます。

### （５）産業振興関連

今後人口動態や産業構造の変化、利用ニーズに合

わせて、建て替えや機能の複合化、統廃合を視野に入れて検討します。

### （６）住宅

老朽化や人口減少により住宅入居者の減少などの詳細計画については「公営住宅等長寿命化計画」に基づき実施します。

### （７）社会教育関連

今後は、各個別施設計画を策定し、長寿命化や建て替えなどによりサービスの充実に努めていきます。

### （８）社会体育関連

利用状況や施設の状態などを踏まえた上で、施設の維持管理を検討していくこととしています。

### （９）公園

老朽化の状況と利用者ニーズを考慮し、建て替えや施設の多機能化、大規模修繕、統廃合についても検討します。

### （10）学校

国の指針に基づいた構造躯体の耐力度調査や劣化診断を行うこととしています。

## (11) その他

老朽化の状況と利用者ニーズを考慮し、建て替え

## 2. インフラ系施設の管理に関する基本方針

個別に定める長寿命化計画等に従って維持管理、修繕、更新等を進めていきます。

### (1) 道路

訓子府町舗装修繕計画において、修繕の必要性とともに、路線特性や機能性・安全性等を考慮して修繕優先順位を定めています。

### (2) 橋りょう

「訓子府町橋梁長寿命化修繕計画」に基づく計画的

## 3. 公共施設等の将来の資産更新必要額と個別施設計画の財政効果

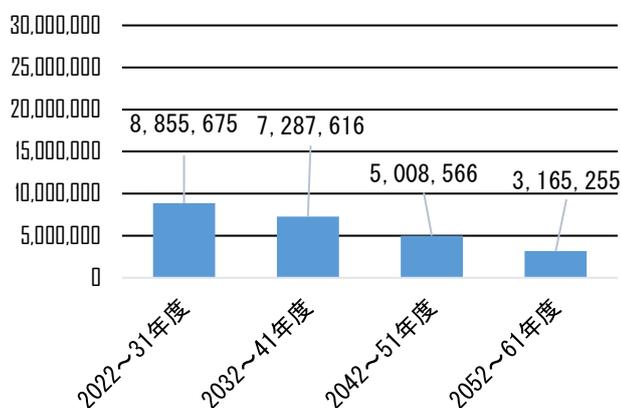
### (1) 公共施設

#### ①公共施設（訓子府町立訓子府中学校及び訓子府町スポーツセンター以外）

施設の方向性に基づいた更新等を行った場合、約135億円削減することができます。

各施設の方向性を適用して試算した結果は下記のとおりとなります。

(単位：千円)



や大規模修繕、統廃合についても検討します。

な修繕や、定期的な近接目視点検などを通じて、損傷等を早期に把握し、長寿命化につなげます。

### (3) 水道

「訓子府町簡易水道事業アセットマネジメント」をもとに、耐震化及び更新を進めます。

### (4) 下水道

現在取り組んでいる地方公営企業会計への移行により、各種情報を整理して進めます。

#### ②訓子府町立訓子府中学校

長寿命化計画による改修を行った場合、今後40年間で約27億円の事業費がかかります。

#### ③訓子府町スポーツセンター

長寿命化計画による改修を行った場合、今後40年間で約17億円の事業費がかかります。

### (2) インフラ系施設

#### ①道路

計画的修繕を行うことで、コスト縮減が期待でき、また修繕費の平準化により、財政負担の緩和を図ります。

#### ②橋りょう

橋梁マネジメントシステムにより算定した事業費について、各年度の事業費の平準化を行っています。

#### ③水道

簡易水道アセットマネジメントの中で、水道事業の財政シミュレーションを行っています。

## V 公共施設マネジメントの実行体制

### 1. 推進体制

必要に応じて対象施設に関連する市民・施設利用者・関係団体等との協議を行い、十分な調整と合意形成を図りながら進めます。

### 2. 情報等の共有

「新しい公会計」の視点を導入し、庁舎内の情報共有を図ります。

### 3. 町民等との協働

必要に応じて町民からの意見・要望を採り入れながら、公共施設マネジメントを推進します。

### 4. PDCAサイクルの確立

本計画は公共施設マネジメントにPDCAサイクルを採り入れ、計画自体を継続的に改善していきます。